

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名：一般国道120号 <small>しいさか</small> 椎坂バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：群馬県
起終点：自：群馬県沼田市利根町大原 至：群馬県沼田市白沢町生枝		延長：4.2 km	
事業概要：一般国道120号椎坂バイパスは、トンネルを含む延長4.2 kmのバイパス事業である。旧利根町と旧白沢村にまたがる椎坂峠は、山道特有の急カーブや急坂が連続し、特に冬季は、積雪や凍結のため、交通渋滞や交通事故が発生し交通の難所になっている。椎坂バイパスは、これらの解消し、走行性や安全性の向上を図るものである。			
H 9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 年度用地着手	H 年度工事着手
全体事業費：96億円		事業進捗率：4%	供用済延長： km
計画交通量：8,900台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 2.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 79/86 億円 (事業費：75/82 億円) (維持管理費：4/4 億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 190/190 億円 (走行時間短縮便益：167/167億円) (走行費用減少便益：19/19億円) (交通事故減少便益：4/4億円)
基準年：平成18年			
感度分析の結果：分析なし			
事業の効果等：冬季や異常気象時においても、安全で安心な通行が確保されるとともに、旧利根町、旧白沢村と沼田市が合併したことから、合併支援にも重要なバイパス事業である。			
関係する地方公共団体等の意見：地域にとって重要な生活道路でもあり、地元の沼田市などから構成される「国道120号線整備改良促進期成同盟会」から早期整備の要望（平成18年5月29日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：特になし			
事業の進捗状況、残事業の内容等：当初計画を見直した、新ルートについて、平成18年から測量、道路詳細設計、地質調査等に着手しており、今後、事業の促進を図る予定である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等：当初計画時に環境調査を行ったところ、オオタカの飛翔が確認されたため、影響を確認するために時間を要した。現在の計画では影響がないと考えられるが、引き続き調査を継続していく予定である。			
施設の構造や工法の変更等：当初計画では、延長2.9 kmのトンネル計画であったが、トンネル延長を短くするとともに、施工区間を分けることで、早期事業効果の発現ができるようにした。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由：以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の重要性、必要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。